

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年度以前		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	03 災害に強いまちづくり
	小項目	施策	03 海岸整備
	事務事業名	01	農林海岸施設管理事業
根拠法令・例規等		海岸法、岡山県建設事業費市町村負担金徴収条例	
問		担当課(室)	農林水産課
合		職・氏名	耕地治山係長 藤森 亨
先		電話	0869-64-1830
このシート作成に要した時間			4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市内農林海岸保全区域内の市民及び農地
目的(何のために)	津波、高潮、波浪、その他海水による被害から市民及び農地を保全する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	農林海岸施設を整備することにより津波、高潮、波浪、その他海水による農地の浸水被害を防ぐ。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	県営農林海岸施設整備事業	海岸法に基づき海岸保全区域に指定されている海岸について、岡山県が護岸等を整備又は維持補修し、事業費の1/3を市が負担し、事業が円滑にすすむように地元調整を行う。	
	海岸施設管理委託料	海岸保全区域内の堤防の維持管理のため、草刈りを行う。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	2,264	8,287	9,012
	必要人員(人件費)	千円	0.07人	0.05人	0.20人
	事業費	千円	2,827	8,726	9,223
	国県支出金	千円	100	100	100
	受益者負担	千円			
財源	千円				
繰入金	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	2,727	8,626	9,123	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	説明	岡山県管理の農林海岸の補修延長			
	結果指標量	事業	20	68	56
	対前年比	%	-	344.2%	82.0%
	活動コスト	円	2,488,000	8,501,000	8,842,000
	単位当たりコスト	円	126,294	125,383	159,029

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
樋門堤防の補修延長(単位:m)	目標値(A)	19.7	35.2	55.6	0
	実績値(B)	19.7	77.8	55.6	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	221.02%	100.00%	無し
成果指標設定の考え方・式や説明					

本事業は、維持管理的なものであり、その都度必要が生じた箇所について対応しているものが主なものであるため、目標設定はできない。しかし、岡山県営事業で平成17年から平成22年度まで6ヶ年で事業を実施しているため、それぞれの年度ごとの事業費を成果としている。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E> B
有効性の評価	目的達成度		
	市民参画度		

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成22年度で、岡山県に要望していた鶴海海岸、久々井海岸の施設整備は、完了した。今後は、海岸堤防の維持管理を中心に、草刈り等を行い、堤防の異常の早期発見に努める。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
農林海岸背後地の保全のため、必要な事業である。経年により保全対象の農地が宅地化されてきているが、近年の台風、高潮に対応できるよう整備必要箇所を検討し、整備をすすめ、鶴海海岸、久々井海岸の改良要望箇所は、22年度で完了した。	評価区分 <A~E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	平成24年度以降は、地元関係者と協議を密に行い、随時、補修、整備の必要が生じた箇所について岡山県に要望していく。					